

令和6年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類	授業担当者
社会的養護Ⅱ				演習	戸谷佳子
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
2	1	30	15	後期	幼免:選択 保育士:必修
[授業の目的・ねらい] 社会的養護を必要とする社会の現状を理解し、児童福祉施設における保育者の役割、支援内容や利用者支援に必要とされる知識や態度を学ぶ。					
[授業全体の内容と概要] 現在の社会の中で、児童に必要とされることを学び、社会的養護を必要とする児童の捉え方と児童福祉士施設の支援内容を知る。					
[受講上の注意事項] 授業の内容をより理解していただくためにレポートの提出をしていただきます。またワークも行います。ワークに関しては評価基準を設け、それによって評価します。積極的に参加してください。					
[使用テキスト] 保育士を目指す人の社会的養護Ⅱ みらい				[評価基準] 授業内・外の課題とワークへの取り組みの評価	
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	社会的養護とは		養護を必要とする児童や家庭の社会的背景を理解し、家庭の養育機能について学ぶ。		
2	児童福祉施設の子ども達		児童家庭福祉施設を取り巻く新しい概念、第三者評価事業について		
3	里親制度の現状と課題		里親制度について・里親支援の重要性		
4	施設養護のプロセスの現状と課題		施設養護のプロセスに求められる視点、展開内容と留意点		
5	保育士の基本的な援助		日常生活援助、学習指導、余暇活動、家庭調整		
6	障害児入所施設		生活プログラムの作成・療育援助		
7	こころの援助		施設養護におけるこころの援助とは		
8	虐待を受けた子どもへの対応		被虐待児とのかかわり方		
9	親子援助		親子関係の調整における役割、チームアプローチ		
10	地域、学校との関係づくり		地域、学校との関係づくりにおける留意点		
11	自己表現・自立への支援		自立の考え方、自立支援の意味		
12	児童福祉施設の子ども達・運営管理		施設運営、組織形態、施設運営と人材育成		
13	児童福祉施設における保育士の資質と倫理		援助者として自分の資質を知る・保育士の倫理		
14	バーンアウトを防ぐために		個人の視点、施設の視点からの予防		
15	社会的養護の課題とまとめ		課題とまとめ		
実務教員としての経歴					
実務経験と授業の関連					